

かけがわの森から

掛川市森林組合通信

2024年秋号 Vol.69



登山ガイド業と、林業と。

森林を俯瞰する目をもつと養い、
全身で森林への理解をさらに深める。
共に山に働く身としての、
共通のミッションです。
山と森林を楽しむ皆さんが、
適切な林業の営みを
もっと知ってもらえますように。



(写真) 山岳ガイド 鈴木沙さんの鹿島槍ヶ岳ガイドツアーから

榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 37

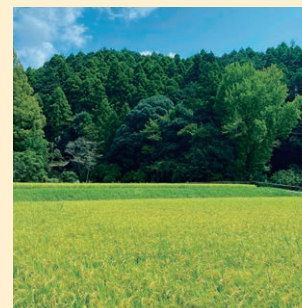
令和の米騒動に思う

お盆休み中、南海トラフ地震臨時情報や台風の影響で店頭からお米がなくなっているニュースが流れました。我が家は自家の田圃でとれたお米を備蓄し、お米を購入することはないので、今回の米騒動に驚いたと同時に、稲作の将来に強い危機感を覚えました。

我が家では裏山の溜め池からの水の出し入れ・草刈り・獣害対策は自らが担い、耕作・田植え・稲刈りは近所の耕作者に託しています。一昨年までお願いしていた方は高齢を理由に引退したため、今年から新しい方をお願いをしました。実はこの10年間で、耕作者は三人も交代しています。農業における人手不足は死活問題であることを、肌身をもつて感じています。

この問題は、「担い手(後継者)不足」と「働き手(労働者)不足」という2つの要因があると考えます。両者とも、日本の少子高齢化といった人口動態に基づく構造的な問題でしょう。掛川市内の耕作放棄地の割合も2018年に14%だったのが、2023年には22%に上昇しています。掛川市内の農地の約四分の一が耕作放棄地というのが現実です。

担い手/働き手不足を解消するためには、農業の生産性と所得を高め、魅力的な産業にすることが重要であり、一定の規模拡大とICT等を活用した自動化などを取り入れていくことが不可欠でしょう。将来的には、個人の小規模農家は減少し、法人の大規模農家が増加していくと思います。規模と効率を追求することで多様性が失われる懸念はありますが、人口減少時代における食料安全保障や経済成長の観点から、避けては通れない方向性のようにも思います。



私自身は法人化した大規模農家の重要性は理解しつつも、規模と効率を必要以上に求めない、こだわりをもった農家が生産・提供する、高品質で付加価値の高い農産物を応援したいと思います。少し値段は高くてもすすんで購入するなど、個性豊かな農家を支える社会風土の構築も必要でしょう。

我が家では、妻と協力しながら水田管理を続けます。森の恵みいっぱい溜め池の水で育った安心・安全なお米を食べ続けることで、未来へとそのバトンをつなげていけたらと思っています。

＼これいい!／ 購買担当「リエさん」のオススメGOODS!!

地球にやさしい燃料で暖かく **ストーブ用 薪**

薪棚1区画 約1m³(長さ約40cm・直径 最大径10~20cm)

●針葉樹(スギ・ヒノキ混合) **¥14,300**(税込)

●広葉樹(シイ・カシ・サクラ・ナラなどの混合) **¥19,800**(税込)

乾燥した薪は本格的に寒くなってくると在庫がなくなってしまうので、寒くなる前のご準備がおすすめです。事務所にてご案内させていただきますので、在庫の状況などお気軽にお問い合わせください。



オトクなキャンペーン実施中
広葉樹と針葉樹を同時に買い上げ
いただくと広葉樹が
¥17,600に!



組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は
森林組合へご一報ください。



KAKEGAWA
Forest Owner's Cooperative

発行元

掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1

TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113

<https://www.kakemori.jp>



ふとしたところに自然の不思議



「登山ガイド」と「森林組合職員」。共に山に働く身として、森林を俯瞰する目を養い、全身で森林への理解を深めたい。

今号は、新たに編集委員となった原田・川瀬が聞き手となり、10年以上登山ガイドとして活躍されている鈴木 渉さん（掛川市生まれ森町在住）にインタビューしました。山の歩き方や森の学び方について、実際に小笠山を歩き、鈴木さんからアドバイスをいただきました。

スタジオやまもりの
ツアープランはこちらから



原田・鈴木さんは登山ガイドとして1年を通して低山から高山まで全国各地の多彩な山を案内されています。今日も森を歩く間、植物や地質のことを数多く教えていただきました。その知識はどうやって身につけたのでしょうか。私も観察しながら山を歩くようにしていますが、森の中の景色を記憶しておくことは難しいものです。

鈴木…私も最初はゼロからのスタートでした。それでも興味を持って何度も山や森を歩いていると、気づきも不思議に思うことも増え、知識がだんだんと深まっています。そしてなにより大切なのは、山や森で過ごす時間の絶対量を増やすことです。そうするうちに散らばっていた知識がある時一気につながり、いろいろなことが明確になる瞬間があります。そこに行き着くまでにはある程度長い時間が必要です。

今はインターネットで手軽に答えを得ることができます。でも答への周辺にあるはずの情報は得にくい。例えば花の名前を知ることができても、その花が好む気候や環境は、実際にあちこちの森で見かけて実感していくものですね。



共通点を見つけて話が弾む

鈴木…最も基本的なことですが、山で道に迷わないことに注意をしています。自分のいる位置を把握するため紙地図は常に持ち歩いています。しっかりと山を把握してガイドします。

川瀬…林業でも紙地図を持つように言われます。スマホの地

図アプリとの違いはなんですか？

鈴木…スマホ地図はピンポイントで自分の居場所が分かりますが、山の全体像はつかみにくい。紙地図は等高線を読み解きながら、自分がどんな形の山にいて、どこ

に向かっているのか俯瞰して把握することに長けています。縮尺も一定で見間違えることがない。私の場合、スマホがあっても紙地図がないと不安です。林業でも同じようなことが言えるかもしれません。

原田…自分の位置を俯瞰して把握することと植生や地形など周りの景色を記憶しておくことは、山仕事ではとても大切です。さて、鈴木さんの「登山ガイド」と私たちの「林業」。同じ山や森に深く携わる営みで

すが、一般には、どこかで線引きされている感じがありますが、いかがですか？

鈴木…確かに山や森に触れるという点で共通し、密接しているはずの二つの営みに、多少の隔たりを感じます。私自身も木を伐ること自体が悪だと思っていた時期がありました。でも森林組合さんのお付き合いの中で、伐採を含めた適切な林業の営みが森林にとって、生態系にとって、有効であるという理解が深まりました。今後は林業側とレジャー側が相互理解を深めることで、この線引きは薄くなっていくのかもしれない。

原田…山や森を楽しくする営みを知っていただくことも大切ですね。共に山に働く身として私たちがその先頭に立つていきたいですね！



小笠山は鈴木さんの大切なガイド・フィールド

コラム・美林掛川へ

教員だった私が見た主伐・再造林

掛川市森林組合に就職して1年半。以前私は、小学校の教員として、林業についての授業を子どもたちに行っていました。そのため、林業に対する知識や理解は多少なりともあると自負していました。しかし、就職して実際の現場を体感すると、林業に対するイメージが大きく変化しました。

『木を伐ることは、森のため？』森林には水源涵養や土砂流出防止など多面的な機能があることは知っていました。そのため、木を伐ることは森林の機能の減少に繋がると考えていました。特に、主伐に対してはマイナスイメージしかありませんでした。1年間、リアルな森づくりに携わる中で、主伐は林業にとつてとても大切な収穫作業であると共に、森林を更新し、新たな循環をスタートさせるという重要な役割を果たしていることがわかりました。

時間もお金も人の力も必要です。急傾斜や車道から遠いなど、条件が悪い場所での作業ばかりでは、事業は赤字になってしまいます。最近では獣害対策も必要です。



伐採が完了して見晴らし良好に



先輩達は手際良く伐採をする

令和6年度に入り、いよいよ組合員さん（地区有林）の山で提案型的主伐・再造林を実施できるようになりました。この再造林計画には、広葉樹も植え、将来的に地元の方が立ち入って観賞できる山にしたいという思いが込められています。その思いを未来へ繋いでいけるよう、継続的に山の整備を行い、自分も山と一緒に成長していきたいと思っています。

ご案内

第63回通常総会が終了 全議案が承認・可決

総務経理課



去る8月24日（土）に第63回通常総会が掛川市生涯学習センターにて開催されました。本人出席50名、書面議決権行使144名の計194名（出席率75.2%）にご出席をいただき、全議案が承認可決されました。

また、第2号議案として「掛川市森林組合・森町森林組合 合併協議会の設立の件」が上程され、◇業務提携に関するこれまでの経緯と検討結果◇合併協議会の目的・構成◇これからのスケジュールについて説明がなされ、全員賛成をもって承認可決されました。今後両組合は、より強靱な組織をつくることで森林・林業への多様なニーズや技術革新などへ対応し、地域の林業の活性化、組合員・地域社会へのサービス向上を目指して参ります。今回も無事に事業報告ができたのも、組合員の皆様をはじめ、関係機関の皆様のおかげと心より御礼申し上げます。また、今期も引き続きご理解とご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

合併協議会の委員について

第63回通常総会後の理事会において、合併協議会の委員4名を次の通り選任しました。
代表理事組合長 榛村航一、代表理事副組合長 中山高志
代表理事 柴田貞雄、理事兼参事 尾崎友昭

スタジオやまもり 代表
すずき わたる
鈴木 渉さん 聞き手：原田、川瀬、尾崎（編集委員）